

令和6年度岩手県立高田松原津波復興祈念公園管理運営業務報告書

第1 事業の実施状況

(1) 管理運営の目標値の達成状況

①防災文化の継承・発信

- ・公園ホームページに協働グループと作成した「あるこうえんマップ」を掲載し、震災遺構、高田松原、伝承館等を巡る散策ルートを提供した。
- ・公園内構成施設について、ホームページでの相互リンク設定やリーフレット等の相互配架を実施した。

②郷土の風景づくり

- ・「高田松原を守る会」と随時情報交換を行い、本公園内の松育成作業を実施した。
- ・新植されたサクラ、マツ等は、毎日の巡回で観察し、支柱の結束し直しなど適切な育成管理を実施した。

③多様な団体の活動支援

- ・協働グループの事務局を補佐し、本公園での各団体の円滑な活動を支援した。
- ・協働グループや大学、市立博物館と連携し、自然とのふれあいや幅広い世代が参加できるプログラムを提供した。

④安全・安心な利用環境

- ・避難ルートの確認や防災訓練を実施し、防災力の向上、お客様の安全管理や利用案内等の対応力を強化した。
- ・安全・安心に関する研修（安全衛生、サービス接遇、コンプライアンス等）を実施した。
- ・全国的な公園管理のネットワークを活かし、全国の安全管理等に係る情報を共有し、本公園の安全点検や点検結果に基づく対応、維持管理水準の確保等へ反映させた。
- ・新型コロナウイルス感染症等への対応として、トイレへの石鹸の設置、手で触れる共有部分の定期的な消毒等を実施した。

⑤高田松原津波復興祈念公園の一体的な管理

- ・園内の各事業者と信頼関係を築き、情報共有、連絡調整を実施した。
- ・ホームページで本公園の魅力を発信するほか、祈念公園全体の情報提供を実施した。

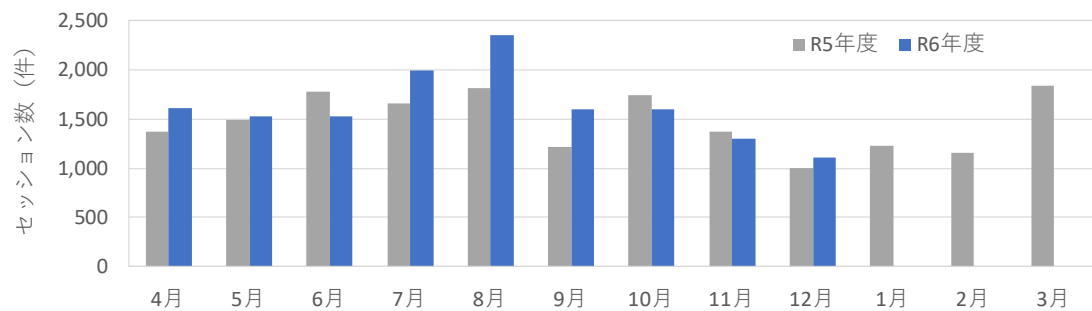
参考1) 会議室の利用状況

(12月末日現在)

	R5年度	R6年度	増減	前年比	備考
利用日数	32日	62日	30日	193.8%	
稼働率	8.9%	23.0%	14.1pt		稼働率＝稼働日数／利用日数×100

参考2) HPアクセス件数

(12月末日現在)



(2) 管理運営の実施状況

管理運営状況全般	<p>○施設管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日、全園の巡視を実施し、異常箇所の早期発見、即時対応を心掛けた。 <p>○植栽管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選択的草刈や、開花結実期を避けた草刈の実施により、ハマエンドウやハマヒルガオなど海浜植物の保護に努めた。 ・全国植樹祭植栽木に係る植栽・下草刈等の増嵩経費相当分について、低木の誤伐を防ぐため、手刈による「坪刈」を行った。 <p>○清掃</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園管理事務所およびトイレ（2棟）の建物清掃は、利用状況に合わせて基準回数以上の頻度で実施した。また、毎日の巡視時に汚れが見られる場合は、簡易清掃を実施した。 <p>○利用管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市公園法、県立都市公園条例をはじめとする関係法令に基づき、公園内の禁止行為をホームページや看板等で案内し、確認された場合は丁寧な説明による利用指導を行った。 ・行為の許可にあたっては、「行為許可の取扱指針」に則り、形式審査・内容審査のうえ、適正に対応した。
----------	--

問題点・課題	<p>① 「芝刈」「下草刈」は植栽管理基準で年1回しか計上されていないことに加え、業務対象に含まれておらず手つかずの箇所もある。そのため、草丈が高くなった場所が利用の支障となっている。また、将来的に雑草が優占することで、さらなる利用の妨げとなる可能性がある。</p> <p>② 強風により、古川沼周辺エリアを中心に、広範囲にわたり、マツの支柱が破損（8/13 台風5号 272本、10/20 強風 198本）。倒伏したマツや、やらず杭の抜けた支柱が園路に飛び出し、歩行者に危険が及ぶ状況となっている。</p> <p>③ 降雨時、盛土で押し固められた地盤に雨が浸透しない。そのため、流れ出た雨水が園路に集水して園路が冠水し、通行の阻害要素となっている。</p> <p>④ 会議室の利用について、地元の方は津波の浸水区域を避ける傾向にあること、市内の競合施設がかさ上げ地区にあることなどから、当初設計の利用率と現実との間に乖離がある。</p>
問題点・課題への対応	<p>① 再委託の作業に加え、利用者の支障となる箇所については直営作業で可能な限り対応した。</p> <p>② 強風により破損したマツの八掛け支柱について、被害発生後、速やかに調査・報告を実施。加えて、園路沿いなど、通行の支障となる箇所について、かけ替え、結束直しなど応急処置を実施した（56本）。なお、本格的な補修については、基本協定のリスク分担に基づき、大船渡土木センターにご対応いただいている。</p> <p>③ 冠水時には、国営追悼・祈念施設と連携して通行止め措置を行っている。なお、冠水状況は月報にて報告するとともに、適宜、大船渡土木センターに情報を共有し、排水対策を提案した。</p> <p>④ 会議室の稼働率向上を目的に、自主事業でフリーWi-Fiを導入し利便性の向上を図るとともに、イベントチラシの裏面に会議室の利用案内を掲載し認知拡大に努めた。加えて、市民協働等、イベントで会議室を積極的に活用。その模様を公園ブログやSNSで紹介することで、具体的な活用例や利便性を伝え、利用を促した。</p>

(3) 職員の配置状況

別添「職員配置報告書」のとおり。

(4) 委託の実施状況

業務名	業務内容	受託者名	契約額(千円)
夜間警備業務(機械警備)	管理事務所の機械警備業務	株式会社 N・SAS	231
自家用電気工作物 保安業務	管理事務所の自家用電気工作物の 保安業務	一般財団法人 東北電気保安 協会	198
換気・空調設備 保守点検業務	管理事務所内の換気・空調設備の 保守点検およびフロンの点検業務	エヌ・ティ ファシリティ ーズ株式会社	115
消防用設備 保守点検業務	消火器・非常警報設備の保守点検 業務	宮城ノーマ 株式会社	30
植物管理業務	芝刈り業務および樹木管理業務	大和造園土木 株式会社	11,280
ホームページ 保守業務	ホームページの保守業務	一般社団法人 トナリノ	563

(5) 法定点検等の状況

点検時期	点検項目	点検結果
6・12月	消防設備等(消防法)	異常なし
偶数月	自家用電気工作物(電気事業法)	異常なし
5・8・11月	空調設備(フロン排出抑制法)	異常なし
毎月	夜間警備設備	異常なし
11月	換気設備	異常なし

第2 利用状況に関する事項

(1) 有料公園施設の利用状況

別添「有料公園施設利用状況」のとおり

(2) 利用促進のための事業の実施状況

○主催イベントの開催

- ・釣具店、釣り具メーカーと連携し「三陸 CleanUP！」(4/20)を開催した。
- ・岩手医科大学と連携し「高田松原でカニを探そう！」(8/6)を、岩手県立大学と連携し「希少な水草を観察しよう！」(9/15)を開催した。
- ・陸前高田市体育協会と連携し「ノルディックウォーキング体験」(9/28)を開催した。
- ・陸前高田市立博物館との共催により、古川沼にて「野鳥観察会」(12/15)を開催した。

○関連施設との連携

- ・公園周辺施設との情報共有、連携イベントの検討を行い、「花火大会」「海開き」など関連する地域の取組みの際には、公園での利用案内や安全な運営のための支援を行った。
- ・8月より、国営追悼・祈念施設、伝承館、道の駅と次月の予定を確認する連絡会議を毎月開催し、公園利用者への円滑な情報提供に努めた。
- ・「3.11 追悼の催し」について、陸前高田グローバルキャンパスと連携し、企画運営に学生を加えた体制を構築。市民の意識調査を実施したほか、市内で追悼の催しを実施する2団体の協力のもと、国営追悼・祈念施設での開催に向けて調整中。

○協働グループとの連携、市民協働体制の充実

- ・各会議への参加および公園利用の調整を行うとともに、道具の貸し出しや預かり、広報など日常的な活動の支援を行った。
- ・陸前高田花の会、NPO 法人 Green Fields、陸前高田フラワーロードを応援し隊！と共催で、コミュニティガーデン講座「ハーブを楽しむ花壇づくり (6/29)」「花壇の計画と楽しみ方 (9/16)」「みんなの花壇づくり実践 (10/6)」「希望のスイセン フラワーロード (11/4)」「葛 (クズ) でカゴ編み (12/14)」を開催した。
- ・陸前高田花の会、NPO 法人 Green Fields、陸前高田フラワーロードを応援し隊！と連携し、公園管理事務所前のプランターの植え替えを行った。
- ・NPO 法人きらりんきつずと共催で、防災イベント「体験してみよう！防災ミッション！！ (6/30)」を開催した。
- ・一般社団法人 陸前高田被災地語り部くぎこ屋と共催で「防災講演会 (8/6・7)」を開催。あわせて開催した「自然災害と防災写真展 (8/6～9/8)」の実施に協力した。

第3 経理の状況に関する事項

(1) 決算の状況

(12月末日見込)

ア 収入の部

(円)

項目	予算額	収入見込額	差引	内訳
管理代行料	43,759,000	43,759,000	0	
利用料金収入	68,000	79,530	11,530	会議室利用料他
自主事業収入	10,000	2,000	▲ 8,000	
計	43,837,000	43,840,530	3,530	

イ 支出の部

(円)

項目		予算額	支出見込額	差引	内訳
人件費	給与	16,444,000	16,450,623	6,623	事務所スタッフ給与、社会保険料等
一般管理費	賃金	6,700,000	6,526,185	▲ 173,815	マルチスタッフ賃金、社会保険料等
	需用費	4,125,000	4,064,278	▲ 60,722	機器等賃貸料、光熱水費、消耗品費等
	役務費	990,000	729,369	▲ 260,631	電話、通信運搬費、施設賠償保険等
	委託料	12,732,000	13,227,940	495,940	第三者への委託費等
	事務雑費	112,000	153,539	41,539	銀行振込手数料等
	租税公課	1,845,000	1,799,596	▲ 45,404	未払消費税等
	その他諸経費	889,000	889,000	0	
計		43,837,000	43,840,530	3,530	

(2) 行為許可に係る利用料金の免除の状況

(12月末日現在)

免除件数	免除額
20件	788,520円

別添「行為許可記録簿」参照

(3) 有料公園施設の利用料金の減免実績

(12月末日現在)

施設名	件数	減免した額	備考
会議室	51件	275,760円	

(4) 修繕費の状況

該当なし

(5) 備品の購入状況

該当なし

(6) 電算システムの構築状況

該当なし